

# 学 位 論 文 要 旨

氏 名 三 益 美 千 郎

題 目 子どもの造形行為における意味生成過程の根拠としての  
生命的な〈場〉に関する実践的研究

## 1 研究の目的と方法

本研究では、小学校図画工作科授業の造形行為における子どもの意味生成過程について検証する。さらにその意味生成過程の根拠となる場を生命的な〈場〉として視点をあて、その成り立ちについて明らかにする。

研究の方法として質的研究アプローチをとり、①学習環境デザインの観点から授業を研究開発、②授業実践及び授業実践における子どもの活動過程を周縁的・参与的に事例収集、③活動過程の全体を場面分けした上で第1次トランスクリプト、第2次トランスクリプトに記述し考察を行った。トランスクリプトの記述にあたっては、(a)他者の表現行為との同時進行、重なり、視線の移動を微視的に記述すること、(b)関係が推移する場面間に着目して個々の場面を形作る子どもの行為と〈もの・こと・人〉との関係を静止画像により画像分析すること、(c)場面固有の行為の質を記録すること、を視点とした。本研究では研究開発した授業実践より4つの事例を取り上げて考察した。事例Ⅰでは活動の生成が生まれること、事例Ⅱでは鑑賞行為が生まれること、事例Ⅲでは個別のかつ協働的な関係が生まれること、事例Ⅳでは個と材料との相互作用的關係が生まれることを意図した。これら4つのタイプの授業を研究開発実践することを通して得られた事例をもとに、現象学やエスノメソドロジーの手法を用いた相互行為分析により、造形行為や造形作品と子どもの資質や能力が意味生成的な〈場〉を通して、どのように形成されるのか明らかにしていく。本研究では、理論をもとに学習活動を創造し、子どもの学びの過程を考察し理論を再構成する、理論と実践の往還が可能であり、教育実践学へのアプローチとして位置づくものである。

## 2 研究の概要

第Ⅰ部では、問題の設定と研究の目的、方法等について述べた。

第Ⅱ部では、造形行為における意味生成過程について3つの授業実践事例より明らかにした。Ⅱ-1では、事例Ⅰの考察より〈私〉と〈他者〉の関係において[〈もの-かたち〉+ふるまい]によって「共同化された対象」、「共同化された行為」が生まれ「共同化された志向性」がつくりだされていること、このような過程において意味はできごと世界を生成する認知的關係が社会的關係の中で生起していること、意味が生成され成り立つ過程において〈私〉と〈他者〉のあいだに間主体的で間主観的な〈場〉が成り立ち、この〈場〉が〈私〉と〈他者〉の相互の主観性を成り立たせていることが認められた。

Ⅱ-2では、事例Ⅰでの造形行為の進行中の発話行為に着目し、造形行為における言語活動の位相を明らかにした。考察の結果、言語活動は造形行為と相互作用的な関係にあって造形表現活動を拡張する契機となっていること、アクチュアルな間主体的な〈意味世界〉を生成していることが認められた。Ⅱ-3では、事例Ⅱの考察より造形表現活動における鑑賞行為の位相を明らかにした。自他が“つくり表すあり方”や“つくり表しているもの”を鑑賞する行為を通して、〈かたり〉と“つくり表された意味”とを同時に生成していることが認められた。Ⅱ-4では、事例Ⅲの考察より造形行為を共に生きる他者との関係について明らかにした。考察を通して、子どもたちは多様な表現行為を多元的に相互作用し合って造形行為を行うことで授業における〈できごと世界〉を生成し成り立たせていることが認められた。

第Ⅲ部では、造形行為における〈場〉について考察した。Ⅲ-1では、記述したトランスクリプトを仮定した造形行為の内実モデルの関係性への着目から再記述し考察した。その結果、〈場〉のもつ協同性、間主体性が明らかとなった。Ⅲ-2では、事例Ⅳをもとに子どもの造形行為の生成と成り立ちを支える〈場〉を生命的〈場〉ととらえ考察した。考察を通して生命的な〈場〉とは〈図〉と〈地〉の関係が重層的に起きてくるあいだに生起していることが明らかになった。

第Ⅳ部では、第Ⅱ部、第Ⅲ部の考察を受けて、造形行為における意味生成過程の根拠としての生命的な〈場〉の成り立ちについて考察した。Ⅳ-1では、生命的な〈場〉を考察するにあたり、永井均による「無の場所」論に依拠して「生命的な〈場〉モデル」を提出し、モデルを視点として事例Ⅳと事例Ⅰについて再記述を行った。考察を通して子どもたちは実践に共に参加し共に行為することで共有の世界、つまり共有の世界に生き合う人々を包み込み個々人が生きる行為を生成することを可能とする〈場〉を創造していることが明らかとなった。これが生命的な〈場〉といえる。最後にⅣ-2において研究のまとめとして生命的な〈場〉のもつ特性について整理し、さらに研究成果をもとに学校教育現場の実践に向けた学習活動構想の視点を提出した。